

19 盛 交 第 12号

平成19年5月8日

国土交通省道路局長 様

盛岡市長 谷 藤 裕



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について（提出）

このことについて、別紙のとおり意見を提出しますので、よろしくお取り計らい願います。

担当：盛岡市建設部交通政策課

街路計画係 今野孝一

019-651-4111(内)2764

1. 重点化を進める上での特に優先度の高い政策はどの様にお考えになるか？

「地域の活性化のための道路整備」

(1) 盛岡市の施策

「元気なまち盛岡」をテーマに盛岡市の平成19年度の重点化施策

みんなで支える子育て支援の展開

まちに活力を与える工業の振興

地域資源をいかした観光・物産の振興

(2) 施策内容

① 観光振興について

- ・ 観光による盛岡市の活性化は、就任以来の重要施策。(ハンギングバスケット等の観光施策の推進)
- ・ 本年度からのNHK朝の連続テレビ小説「どんど晴れ」の放映により、県内外から盛岡城跡公園や石割桜、ロケ地になっている紺屋町、鉾屋町等の歴史的雰囲気のある街並み等より多くのお客様の来盛を期待。



- ・ 県内外からのお客様を迎えるための、インターチェンジ、空港等にも直結する広域幹線道路整備が必要
- ・ 市街地内では、来盛したお客様が安心して歩ける道路空間確保が必要

② 物産振興について

- ・ 盛岡市の地場産業である、南部鉄器、食品、染物等の産業振興
- ・ 特に南部鉄器は、本年度からフォア・ヨーロッパ・ブランディング事業として、ヨーロッパ市場向けの製品作り・輸出に力を入れることとしており、国際化の流れ。



- ・ 国内向けには高速道路との結びつき、海外向けには積出港である太平洋・日本海を結ぶルートが必要

③ 工業振興について

- ・ 岩手大学等や企業との産・学・官の連携により、盛南地区の産業用地を中心に、ナノテク等の最先端産業誘致を行い、高付加価値な工業製品の製造に力を入れる。




- ・ この製品の輸送の、高速道路、太平洋・日本海を結ぶルートのほかに、特に高付加価値な製品については、空輸を意識し花巻空港との結びつきが重要。

(3) 活性化を支える道路整備の課題

① 盛岡市と各地を結ぶ広域幹線道路整備

- ・ 県内外からのお客様を迎える道路として、また、工業製品を日本国内はもとより海外への輸送ルート確保としての広域幹線道路が必要。
- ・ このため、以下の道路整備促進を要望  
県北部や青森・北海道を結ぶ国道4号「盛岡北道路」「渋民バイパス」整備  
県南部・花巻空港と市街地を直結する国道46号「盛岡西バイパス」整備  
太平洋・日本海を結ぶ横軸大動脈としての国道46号の高規格化と国道106号都南川目道路整備

② 歩いて楽しい中心市街地を形成するための幹線道路整備

- ・ 中心市街地においては、本年度より国のご支援をいただきながら「もりおか交通戦略」を立案。
- ・ 本年度は、盛岡駅南大橋線に多くの補助を頂戴し感謝申し上げます。
- ・ 盛岡駅南大橋線整備等により中心市街地を囲む幹線道路の形成  

- ・ 歩道を広げる等の空間再配分により歩行者・自転車に安全・安心な道路空間形成
- ・ 景観形成と一体的な整備による豊かな生活空間の形成
- ・ 新たな都心循環バス運行による魅力的な交通手段の導入が可能。

(4) 他施策との結びつき

地域の活性化のための道路整備が、国の施策に結びつくものとする。

「地域の活性化のための道路整備」



以下の施策に結びつく。

- ・ 産業振興による「国際競争力の強化」
- ・ インターチェンジとの直結による「高速ネットワークの効率的活用と機能強化」
- ・ 中心市街地における「安心安全の確保」
- ・ 景観形成との一体化による「豊かな生活空間の創造」

## 2. 効率化を徹底的に進める上で重視すべきことはどの様にお考えになるか？

### (1) 事業評価の徹底と集中的な事業投資

- ・ 事業を実施するにあたって、現況の交通状況を十分調査したうえで、緊急性、有効性、効率性を考慮し、事業評価を徹底したうえで事業の実施の可否を決定することが重要。

特にボトルネック箇所の整備や交差点改良、踏切拡幅などを集中的に重点的に進め早期に事業効果を発揮することが低コストで効果的な整備につながる。

### (2) ローカルルール導入によるコストの縮減の取り組み

- ・ 地域の特徴とニーズに合わせた、規格・構造に創意工夫を凝らすなど、ローカルルールの導入により、整備効果の早期発現、整備コストの縮減を図る。

### (3) 事業実施する際の関係住民等の意見を反映させる仕組みの構築・推進

- ・ 事業を実施する際に、その必要性等について関係住民等の意見や考え方を充分に反映させることにより、地域が真に必要とする事業が実施され、地域住民が管理に参画しやすくなる。

### (4) 長寿命化対策の推進

- ・ 長寿命化対策により既存施設の有効活用が重要。そのために維持管理への補助（技術支援も含む）等の拡大・充実が必要。

### (5) 高速道路の有効利用促進

- ・ 近隣市町村間の高速道路料金の引き下げ等により利用を促進することにより、市街地内の通過車両が削減され、一般道の交通渋滞緩和の一助。

### (6) 関係機関協議・用地交渉・埋蔵文化財調査などの迅速化

- ・ 事業を実施していくうえで、関係機関との協議や用地交渉、埋蔵文化財調査の遅れなどにより事業の長期化が避けられず、早期事業効果の発現ができない状況が数多くある。迅速化を図ることが、道路整備の効率化につながる。

### (7) 道路台帳の共有化

- ・ 道路台帳のデジタル化に伴い、国県道と市道の台帳を共有することにより、事務の効率化と高度な情報の提供が可能。

### 3. その他、道路政策等に関する意見はいかがか？

#### (1) 地方の道路は地方で

- ・ 国庫補助負担金や交付金制度について、地域課題に対応した道路整備が機動的に進められるよう地方の裁量を高め、地方の道路は地方で整備できるよう、新たな補助制度について検討願いたい。(例えば、地方への一括補助制度)
- ・ あわせて効率的な事業推進のためにも補助申請の簡素化をお願いしたい。

#### (2) 日常生活を支える道路整備

- ・ 交通安全対策、防災対策等、安全で安心できる人・自転車優先の道路整備の推進。(例、歩行者空間のバリアフリー化、自転車通行帯の設置)
- ・ 通勤通学における渋滞緩和、交通弱者にとっての重要な足としてバス交通を支える道路整備
- ・ その他

狭あい道路の拡幅整備

自転車駐輪場の整備促進

無電柱化の推進

#### (3) 関係機関との協議

- ・ 道路整備にあたって、鉄道事業者との協議に時間を要することが多く苦慮している。特に、踏切や駅の自由通路等の整備にあたっては、駅舎や関連する鉄道施設とセットにされその費用負担等について、双方の意見がなかなかまとまらない状況になることがあることから、全国的な事例を踏まえたマニュアル作成や問い合わせに対し、整備局としても積極的に対応していただきたい。

#### (4) 積雪寒冷地域における冬期道路交通確保のための、雪寒事業の充実と推進